**様式の記入に当たっては「記入要領」を必ずご確認ください。**

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

**平成29年度募集ACT-I 研究提案書**

区分4

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 研究者氏名 |  |
| 生年月日・年齢 | 昭和/平成　○○年　○月　○日  ○○歳　*（平成29年4月1日時点の年齢を記入してください。）* |
| 所属機関・部署・役職 | *学生は、大学院名・研究科名・修士/博士学年を記入してください。* |
| 研究者番号 |  |
| 学歴 |  |
| 研究歴  (主な職歴と  研究内容) |  |
| 個人研究者の情報 | URL: |
| 希望する研究費 | 全研究期間での研究費希望総額(　　　　　万円) |
| 希望する参加形態 | □委託予定先機関に所属　　□専任　　□学生  *（注記）：e-Rad入力と合っているかどうかの確認をお願いします。* |
| 本提案のエフォート | 今年度：　　％ |
| 研究実施場所に  ついての希望 | □現所属機関  □その他(研究実施場所：　　　　　　　　　　　　　　) |

**研究構想**

* *さまざまな専門分野の評価者にとって理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図表(カラー可)も用いてください。*
* ***A4用紙　3ページ以内(厳守)****で記述してください。また、10.5ポイント以上の文字等を使用してください。(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)*
* *研究提案書からは、本様式に限らず、斜体の注意書き等を削除して構いません*
* *研究提案書からは、本様式に限らず、斜体の注意書き等を削除して構いません。*

1. **研究提案の要旨**

*本研究提案の要旨を400字以内（句読点を含む）で記述してください。*

**2．研究の目的・背景**

*本研究提案における研究開発の目的、当該研究開発構想に至った経緯、ご自身のこれまでの研究開発との関連等を記述してください。必要に応じて研究業績リストの論文番号を引用してください。*

**3．研究開発内容**

*本研究提案での目標（1年6ヶ月のACT-I終了時点での達成目標）と、そのための具体的な研究開発項目、自身の研究構想の挑戦性（なぜその研究開発を成功させることが一般には難しいのか、どのようなアイデアで問題を解決しようとしているのか）を、さまざまな専門分野の研究者にもその価値が伝わるようにわかりやすく、かつ、自身と同じ専門分野の研究者が研究開発内容の妥当性を的確に評価できるように具体的に記述してください。*

*また、研究費（直接経費）が300万円を超える場合はその理由を簡潔に記述してください(最大500万円程度)。*

**4．研究開発の独創性・新規性および類似研究との比較**

*関連分野の国内外の研究開発動向を含めて、研究開発の独創性・新規性とその関連研究分野における位置づけを記述してください。*

**5. 未来ビジョン**

*本研究提案により、どのような新たな価値を創造することを狙っているのか、どのような未来を切り拓こうと考えているのかを記述してください。*

*３ページ以内厳守*

**用語の説明**

* *さまざまな専門分野の評価者が研究内容を理解するために有用と思われる用語の説明を記述してください。必要に応じて図表(カラー可)も加えて構いません。*
* *A4用紙　1ページ以内(厳守)で記述してください。 (遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)*
* *用語の説明では、研究構想とは違って、文字の大きさを自由に調整していただいてかまいません。*

*1ページ以内厳守*

**研究業績リスト**

**1. 論文リスト**

*・査読付き論文誌・国際会議プロシーディングスに掲載された研究提案者の研究業績について、提案者本人が筆頭著者である論文とそうでない論文に分けて発表総数を記述してください。*

*・発表総数に続き、主要論文一覧を、それぞれ現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。記述にあたっては、(1)～(5)を通して行頭に連番を付けてください。その行頭の論文番号は、研究構想の記述中で引用できます。*

*・主要論文一覧の記載項目は以下の通りとしてください。*

*著者(著者は全て記述してください。また、提案者に下線を引いてください)、発表論文名、掲載誌（国際会議プロシーディングスの場合は投稿先国際会議）、巻号・ページ・発表年*

1. 査読付き論文誌： 提案者が筆頭著者の論文 　　　計　　　報

【このうち主要論文一覧】

(2) 査読付き論文誌：提案者が筆頭著者でない論文　　 計　　　報

【このうち主要論文一覧】

*２ページ以内厳守*

(3) 査読付き国際会議プロシーディングス：提案者が筆頭著者の論文　　　計　　　報

【このうち主要論文一覧】

(4) 査読付き国際会議プロシーディングス：提案者が筆頭著者でない論文　　　計　　　報

【このうち主要論文一覧】

(5) 上記以外の論文・口頭発表　　計　　　件

【このうち主要論文・口頭発表一覧】

**2. 招待講演リスト**

*・研究提案者の招待講演の総数を記述してください。*

*・招待講演の総数に続いて、このうち主要な招待講演があれば具体的に記述してください。*

*・行頭に連番をつけてください。*

招待講演　計　　　件

【このうち主要な招待講演一覧】

**3. 受賞リスト**

*・研究提案者の受賞総数を記述してください。*

*・受賞総数に続いて、このうち主要な受賞案件があれば具体的に記述してください。*

受賞　　計　　　件

【このうち主要な受賞案件】

**4. 特許リスト**

*・発明者に研究提案者が含まれる特許の総数を記述してください。*

*・特許総数に続いて、このうち主要な特許があれば具体的に記述してください。*

*・行頭に連番をつけ、記入項目は以下の通りとしてください。項目順は自由です。*

*出願番号・発明者（提案者に下線を引いてください）・発明の名称・出願人・出願日*

出願特許　計　　　件、成立特許　計　　　件

【このうち主要な特許一覧】

**5. 自己アピール**

*・上記以外の様々な実績・開発能力・特技等の自己アピールを、具体例を挙げてできる限り詳しく記述してください。この欄を省略することはできません。*

*・特に上記の1.～4.の項目の記述が少ない場合には、この欄が具体的に記載されていることがより一層重要となります。*

*・上記の1.～4.の項目の記述済みの内容でも、特にアピールしたい点があれば、この欄で再度説明しても構いません。*

**他制度での助成等の有無**

**＜ご注意＞**

**・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があ**ります。

・現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、この募集要項巻末に記載されたお問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。

・学生で、日本学術振興会特別研究員(DC)を申請または受給中の方はその旨の記載をお願いします。

・面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

*ACT-Iのエフォート率および他制度のエフォート率を必ず記載願います。*

*また、e-Radのエフォート率と合っているかどうかの確認をお願いします。*

*学生で、指導教員のe-Rad IDを使用されe-Radへエフォート率1%と記載された場合、本提案書への記載は実際に従事されるエフォート率（例：50%）を記入ください。*

*↓*

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 受給  状況 | 研究課題名  (代表者氏名) | 研究  期間 | 役割  (代表/  分担) | (1)本人受給研究費  (期間全体)  (2) 〃 (H29年度 予定)  (3) 〃 (H28年度 実績) | ｴﾌｫｰﾄ率  (％) |
| ACT-I | 申請 | 本提案。右側にエフォートを記入すること。 | | | |  |
|  |  | (　) |  |  | **(1)** 千円  **(2)** 千円  **(3)**千円 |  |
|  |  | (　) |  |  | **(1)** 千円  **(2)** 千円  **(3)**千円 |  |

**人権の保護および法令等の遵守への対応**

*研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。*

*例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。*

*なお、該当しない場合には、その旨記述してください。*

**その他特記事項**

**○その他特記事項**

*・様式5の「他制度での助成等の有無」に記載した助成の中で、ACT-Iの申請内容と関連が深い印象を与える研究課題については、それぞれの研究課題とACT-Iで申請する研究開発内容との相違点を本項で具体的に説明してください。特に研究課題名が類似している場合には、その違いがわかりやすく記載されていることが重要です。*

*・海外での研究実施を希望される場合は、募集要項「4.2.4　応募要件」(84ページ)をご参照の上、海外での実施を希望する理由を本項に記載してください。*

*・上記の他、ACT-Iに応募した理由、研究に際してのご希望、異動予定があるなどのご事情その他について、自由に記述してください。*

**提出前確認シート（※本シートは削除し、提出しないでください。）**

(ACT-I– 別紙)

**○ 締切に十分余裕を持ってご確認ください**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 主な確認ポイント | | 詳細 | チェック欄 |
| e-Radに研究者登録が済んでいるか | | 「第10章」(319 ページ) | □ |
| 研究倫理教育に関するプログラムを修了したか | | 「8.1章」(292 ページ) | □ |
| 研究総括と利害関係がないか**※** | | 「5.1.1」(107 ページ) |  |
| a | 研究総括と親族関係にある。 | | 該当なし□ |
| b | 研究総括と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の研究室等の最小単位組織に所属している。あるいは、同一の企業に所属している。 | | 該当なし□ |
| c | 現在、研究総括と緊密な共同研究を行っている。または過去5年以内に緊密な共同研究を行ったことがある。(緊密な共同研究の有無は、例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者、あるいは共著研究論文の執筆等、それぞれの内容から判断します。) | | 該当なし□ |
| d | 過去に通算10年以上、研究総括と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にあったことがある。“密接な師弟関係”とは、同一の研究室に在籍したことがある場合を対象とします。また所属は別であっても、研究総括が実質的に研究指導を行っていた期間も含みます。 | | 該当なし□ |

※利害関係で明確に判断し難い項目が1つでもある場合には、必ず利害関係問い合わせ様式([https://securekisoken.jst.go.jp/h29youkou\_form.doc)](https://securekisoken.jst.go.jp/H28youkou_form.doc))をダウンロードして必要事項を記載の上、ファイルを添付して送付先までお問い合わせください（送付先：[rp-info@jst.go.jp](mailto:rp-info@jst.go.jp)）。

**○ 提出期限について**

締切間際はe-Radのシステム負荷が高く、応募に時間がかかる・完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、応募を完了するようお願いいたします。

**○ 各様式について**

提案書については漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、提案書に不備がある場合には不受理となる可能性がありますので、ご注意ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 主な確認ポイント | チェック欄 |
|  | e-Radへのデータ入力 | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式1 | 研究提案書 | 記載漏れがないか。  e-Rad入力データとの不整合はないか。 | □ |
| 様式2 | 研究構想 | PDFに変換された状態で、3ページ以内か。 | □ |
| 様式3 | 用語の説明 | PDFに変換された状態で、1ページ以内か。 | □ |
| 様式4 | 論文・特許等リスト | PDFに変換された状態で、2ページ以内か。 | □ |
| 様式5 | 他制度での助成等の有無 | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式6 | 人権の保護および法令等の遵守への対応 | 該当しない場合にも、その旨記述したか。 | □ |
| 様式7 | その他特記事項 |  | □ |
| 確認書 | 確認書（学生が研究提案者となる場合のみ要） | 確認書の項目について学生・指導教員が同意し、署名したものをPDFに変換したか。 | □ |